



毎月十五日発行  
宗像大社  
〒811-3505 福岡県宗像市田島  
0940-62-1314  
http://www.munakata-taisho.or.jp/  
定価 一年送料共 1000円

# 宮司就任披露を開催

## 地元各界・各層から三〇〇人余が参加

去る六月二十七日(金)午前十一時から、宗像市の「玄海口イヤルホテル」で当大社責任役員会主催のもと、神島宮司の就任披露が開催された。

神島宮司は、今春四月十六日付を以つて宮司就任となったが、地元有志をはじめ各方面から、就任披露を望む声が高かった。当大社責任役員会としても、関係各位をはじめ、日頃当大社の御

神徳発揚に御尽力いただいたている方々への新宮司就任の御挨拶、また名誉宮司就任となつた太田前宮司退任の挨拶も考慮し、今後の御支援をお願いすべくであるとして、宮司就任披露を開催する運びとなった。

当日は、「神の宿る島、沖ノ島」のビデオが大画面スクリーンで映し出される大ホールに、神



集い、参加者で一杯となった。先ず主催者である宗像大社責任役員会を代表し、高原文雄氏による開会の挨拶で式典が始められ、祝辞を田村靖邦福岡宮神社庁長(宮崎宮司)より頂き、激励と期待の言葉が述べられた。

そして名誉宮司に就任された太田前宮司は「神島宮司は先見性に富み、職員信頼も厚く安心して引継ぐことが出来ました。今後は陰ながら宗像大社を支えていきたいと存じます。」と退任の挨拶を行った。

続いて神島新宮司が「久保・葦津・養父・太田と四人の宮司様にお任せしたが、素晴らしい宮司様たちで御名を汚さぬよう、この由緒ある宗像大社の舵取



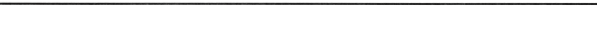
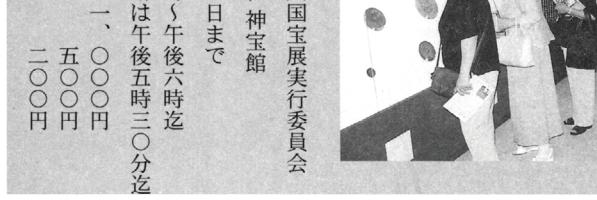
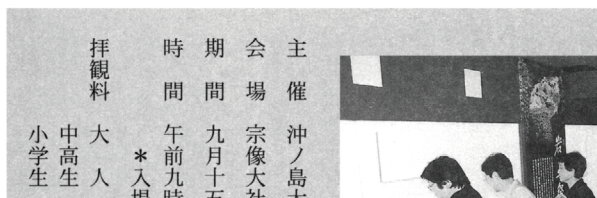
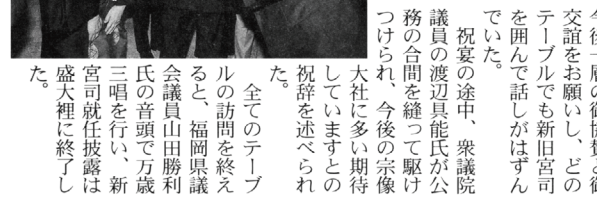
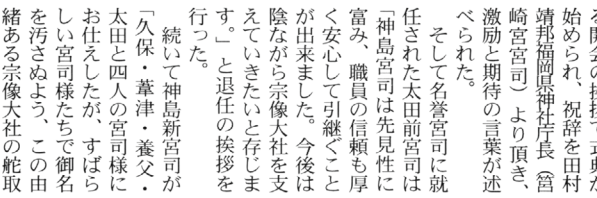
り、誠心誠意勤める覚悟であり、皆様方の御指導、御鞭撻を切にお願い申し上げます。」と決意を述べた。

葦津宮司の急逝、養父宮司の急病とこの何代かスムーズな宮司引き継ぎが実現していないだけに、今回の引き継ぎは当大社のみならず、宗像地域全体の慶祝であった。

祝宴は宗像市長の原田慎太郎氏による乾杯の御発声で始まり、新旧宮司はそれぞれ参加者の各テーブルを廻り、今後一層の御協賛と御交誼をお願いし、どのテーブルでも新旧宮司を囲んで話しがはずんでいた。

祝宴の途中、衆議院議員の渡辺具能氏が公務の合間を縫って駆けつけられ、今後の宗像大社に多い期待を述べていますとの祝辞を述べられました。

全てのテーブルの訪問を終え、福岡県議会議員山田勝利氏の音頭で万歳三喝を行い、新宮司就任披露は盛大裡に終了しました。



神具・装束  
結婚式場用品  
福岡店 福岡市博多区東公園一三二 電話 0940-62-1314  
本店 京都市下京区油小路六条北入 電話 075-343-3341  
電話 京都 075-343-3341

木組の家  
匠の技  
総合建設業株式会社 弘江組  
事務所 8116 福岡県宗像市福元一〇二五  
〒3406 電話 (0940) 331-2567

御礼  
この度の宮司就任披露に際しましては、ご崇敬者の皆様方より心からなる御厚志を賜り厚く御礼申し上げます。  
お陰をもちまして、披露も無事盛大裡に開催することが出来ました。  
ここに紙面をかり、謹んで御礼申し上げますと共に、皆様方の益々の御繁栄を心より祈念申し上げます。  
平成十五年七月吉日  
宗像大社責任役員会 各位

### 沖の島大国宝展 好評開催中

主 催 沖ノ島大国宝展実行委員会  
会 場 宗像大社 神宝館  
期 間 九月十五日まで  
時 間 午前九時～午後六時迄  
\*入場は午後五時三〇分迄  
拝観料 大人 一、〇〇〇円  
          中高生 五〇〇円  
          小学生 二〇〇円

# 暑中御見舞申し上げます

# 出光

## 出光興産株式会社

九州支店長 樋 口 勉

福岡市博多区博多駅前2丁目1番23号  
サニックス博多ビル5F  
TEL 092-475-0190

# 国宝展開催中

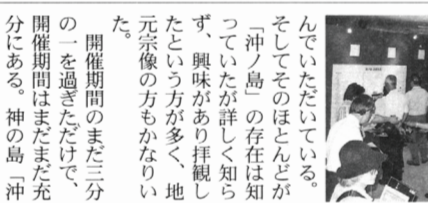
## 開催十七日目

### 入館者五〇〇〇人突破



七月一日午前九時、沖ノ島大国宝展実行委員会吉武邦彦委員長、原田慎太郎宗像市長、河辺健治大島村長、株式会社ゼネラルアサヒ松岡弘明社長、当大社神島宮司らのテープカットで始まった「沖ノ島物語 海の正倉院」沖ノ島大国宝展」も開館から一ヶ月を経過し

ようとしている。関係者の予想を大きく上回り、初日で二〇〇名、土日には四〇〇、五〇〇名の入館者を数えた。そして七月十七日午前十時過ぎに福岡市東区舞松原在住の本郷修一氏(七〇歳)が、五〇〇〇人目の入場者となった。本郷氏は妻の京子さん(七〇歳)と共に入館されたが、「観に行こう」と誘い出したのは妻(京子さん)と照れ臭そうに笑いながら、いい記念になりました。」と話されていた。実行委員会をはじめ関係者も、宗像大神に奉獻された今回の特別展示神宝には



質・量ともに自信をもってPR活動を行ってきたが、正直ここまで関心が大いとは予想外であった。急遽、パンフレット・チケットを増刷し嬉しい悲鳴を上げている。

開催期間のまた三分の一を過ぎただけで、開催期間はまだまだ充分にある。神の島(沖ノ島)をより多くの方に知っていただくべく、今後もたくさんの方々が訪れることを祈っている。



## 禰宜に伊藤権禰宜

禰宜 伊藤 佳和

平成二年権禰宜となり、長を経てこの度(神社本庁辞令七月一日付)禰宜に昇任しました。

県立鞍手高校を経て、昭和六十二年國學院大學第一部文学部神道学科を卒業後、同年四月宗像大社に奉職、同十一年広報課長に昇任しました。

## 第五〇四回 宗像大社歌会詠草

大野 展 男 選 毎月 25 日 べ 切

大井 木原ふさ子  
石塊を重ねしのみ  
屋敷神酒の小瓶の供へ  
てありぬ  
(評) 屋敷神には権禰・八幡・神明などが多く地主神とも言うが、その御神体が石塊を重ねたのみというのいかにも素朴でいい。ご神体の素朴さにふさわしく余計なことを言わず、興味があり拝観したという方が多く、地元宗像の方もかなりいた。

日守 石松 知子  
ねむの花くれなるう  
すき道を風とわれの  
み通りすぎゆく  
(評) さらっと詠まれているが、一首にあるものは単純ではない。季節の移り変りに敏感な作者の姿がある。

福間 香月 照子  
紫陽花に雨降りそそ  
ぐ日暮れどきひまわり  
模様傘欲しくなる  
(評) 若々しく未来志向の作者であろう。このロマンチストなところが読む者の心をゆさぶる。

日守 大和美由紀  
しあはせに誘はれる  
ごといくつもの薔薇の  
アーチをくぐりて行き  
ぬ  
(評) 植物園であろうか、世俗の煩わしさを忘れさせるようないかにも明るくおのずから心の弾んでくるさまが見える。

朝野 藤井 浩子  
庭に生ふ枇杷を甘い  
と食べてるき今年持  
ちゆく母のあらずも  
(評) 枇杷を通して亡き母を偲ぶ作者たるう。今年には持ちゆくは別れ住んでいた母が去年までは尋ねてきて持ち帰ったともこれこそが惜しい。

田野 森 甲子  
己が里の鐘崎漁師に  
なりたきと若者挑む冬  
の漁場に  
(評) 若者賛歌のうた。余情をまじえず、一気に詠った処がいい。

津屋崎 佐々木和彦  
思ひ出すことより忘  
れること多くバランス  
もはや崩れゆくらし  
福間 池浦千鶴子  
百合とばら胸に抱へ  
し若きひと香りのこし  
てパスを降りゆく  
吉留 高山 信子  
ピンクの服着れば心  
若やきて花活けかえむ  
洗濯もせむ  
池田 小田 イセ  
加齢には知らん顔し  
て歌を詠み若きに混り  
元気をもらふ

田野 森 つるの  
軒先の柿の古木は茂  
りきて夏日を防ぎ居間  
は涼しも  
池田 森 龍子  
雲一つ動けば夕日は  
生垣の花穂優しく紫陽  
花を射す  
神湊 中山 千鶴  
照りもせず降るとも  
あらぬ梅雨空にうぐい  
すの声しきりに聞こゆ  
日守 石松 弘次  
灯の下の夏の芝生を  
踏みゆけば足裏にあり  
露の感触  
曲 天野 玲子  
病得て故郷へ帰ると  
いう友を送りて握る手  
の冷たさよ  
城南ヶ丘 中間日出子  
雨ががらいつこにい  
るか鳥の声そよ風とと  
も窓より入りく  
鐘崎 安永 久子  
枯れしかと人言ひて  
るしブーゲンビリア春  
の陽ざしに新芽萌立つ  
光岡 河村 久光  
豪農の背後の山のお  
ざやかにみどり梅  
雨の窓より見える  
選者詠  
つくばひの水替へた  
れば朝より雀の家族つ  
れ立ちてくる  
雀らの去りたるあと  
を踏にのぼりて紙める  
青き蜥蜴が  
草取りをもう止した  
らと言ふごとくわが肩  
撫つるさるすべりの花

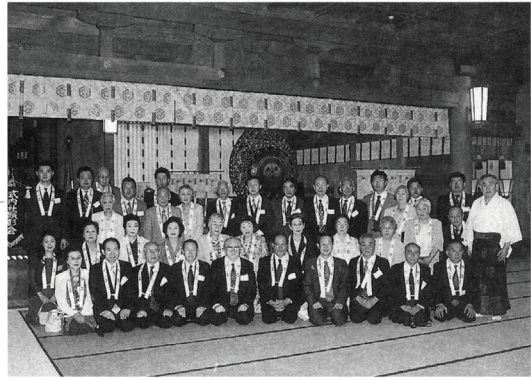
# 暑中御見舞申し上げます



<p>株式会社 九 電 工</p> <p>福岡北営業所</p> <p>所長 山川 伸洋</p> <p>宗像郡福岡町西福岡二一七七一 TEL 〇九四〇一四二一一二〇</p>	<p>宗像農業協同組合</p> <p>代表理事 中野 一</p> <p>宗像市東郷六一一 TEL 〇九四〇一三六一四二一〇</p> <p>田島支店 支店長 中野 修</p> <p>宗像市深田七五一 TEL 〇九四〇一六二一一五</p>	<p>福岡銀行</p> <p>宗像支店</p> <p>支店長 木下 博文</p> <p>宗像市東郷九一八一 TEL 〇九四〇一三六一二〇一七</p>	<p>福岡中央銀行</p> <p>自由ヶ丘支店</p> <p>支店長 下川 勝司</p> <p>宗像市自由ヶ丘五一九七五 TEL 〇九四〇一三三三三三二一</p>	<p>西日本銀行</p> <p>日の里支店</p> <p>支店長 原田 崇始</p> <p>宗像市日の里一丁目三八一〇四 TEL 〇九四〇一三六一二八八一</p>	<p>福岡シティ銀行</p> <p>日の里支店</p> <p>支店長 有座 宏</p> <p>宗像市日の里一丁目二九一八 TEL 〇九四〇一三六一六七七</p>
---	---	--	---	---	--

# 式内社顕彰会巡拝旅行

## 加賀・能登・越前・若狭国を巡拝



白山比咩神社にて

去る六月二十三日、十五日の二泊三日で、式内社顕彰会九州支部・関東支部・本部共催の巡拝旅行が開催された。一同全国から集まるため、石川県の空路は小松空港に、陸路はJR小松駅に集合した。皇學館大学から上杉理事長、牟礼教授、九州支部から霧島神宮、高橋弘平宮司夫妻、祐徳稲荷神社の鍋島朝倫宮司夫妻、当大社太田可愛名譽宮司外、関東支部から香取神宮の高橋昭二宮司外、神社本庁の調査部から林・島津の両氏、総勢三十八人が参加した。

前田家の居城「金沢城」、日本三大庭園の兼六園を見学した。金沢城の瓦が白いのが先ず目に留まった。それは瓦に鉛を含ませている為と説明を受けた。なぜ鉛を含ませたかは定かではなく、雪

「延喜式」神名帳に登載された神社。今からおよそ一〇〇〇年前の律令時代国家は「祭政一致」で進められ、太政院が政治を、神祇院が祭事を司っていた。その神祇院において、全国各地の神社調査を目的に、官社（古代その存在を国家に認められ、公的な祈願をした神社）を記載登録した「延喜式神名帳」と呼ばれる名簿が作られた。

「延喜式」自体は法令・規則を中心に編纂されており、その中の九巻と十巻に神社名が出てくる。その九・十巻を「官社帳」、「神名帳」と称し、一般には「延喜式」神名帳と呼ばれている。ちなみに全国の式内社数は二八六一社にのぼる。

国のため屋根に積もった雪をすべりやすくするため、或いは戦になった際すく落かして鉄砲の弾にするためなど諸説あるようであった。兼六園は加賀藩前田家の庭園で、十二代齊田、十三代齊泰の時代に大規模な作庭が行われ、今の雄大な回遊式庭園が造られた。「兼六園」という名は、十二代齊田が奥州白河藩主松平定信に命名を依頼し、定信は「洛陽名園記」という中国の書物から「宏大・幽邃・人力・蒼古・水景・眺望」の六つの景勝が兼ね備わっている庭であるとして名付けられた。一日目の予定を順調に終え、その夜は金沢市の中心部にあるホテルに宿泊した。

加賀国一ノ宮の白山比咩神社を正式参拝。霊峰白山を御神山とし、奥宮の白山山頂登拝で有名な神社である。現在は白山の登山口に鎮座されているが（これももとと裏等諸説あり）、時代により鎮座地が四回も変わっている。統一して、越前国一ノ宮の統比神宮を正式参拝。重要文化財の大鳥居（木造では最大）があり、内には有名な神社である。本・拜殿が新しい。内には白山の清々しい神社であった。

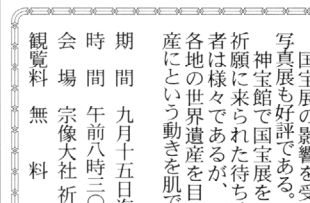
社太田名譽宮司から神島宮司が引き継ぐ事が全会一致で了承された。そして今回は金沢工業大学の藤本元啓教授以下同大学の教授三名が客人として、宴会に加わった。これは先生らが皇學館大卒業後、工業大学の学生に日本文化・思想を教えようとして、上杉理事長以下社界の面々に挨拶したいという事で実現し、宴は盛り上がった。

二日目 加賀国一ノ宮の白山比咩神社を正式参拝。霊峰白山を御神山とし、奥宮の白山山頂登拝で有名な神社である。現在は白山の登山口に鎮座されているが（これももとと裏等諸説あり）、時代により鎮座地が四回も変わっている。統一して、越前国一ノ宮の統比神宮を正式参拝。重要文化財の大鳥居（木造では最大）があり、内には有名な神社である。本・拜殿が新しい。内には白山の清々しい神社であった。



鳥居

二日目 加賀国一ノ宮の白山比咩神社を正式参拝。霊峰白山を御神山とし、奥宮の白山山頂登拝で有名な神社である。現在は白山の登山口に鎮座されているが（これももとと裏等諸説あり）、時代により鎮座地が四回も変わっている。統一して、越前国一ノ宮の統比神宮を正式参拝。重要文化財の大鳥居（木造では最大）があり、内には有名な神社である。本・拜殿が新しい。内には白山の清々しい神社であった。



鴨の瀬

「延喜式」神名帳に登載された神社。今からおよそ一〇〇〇年前の律令時代国家は「祭政一致」で進められ、太政院が政治を、神祇院が祭事を司っていた。その神祇院において、全国各地の神社調査を目的に、官社（古代その存在を国家に認められ、公的な祈願をした神社）を記載登録した「延喜式神名帳」と呼ばれる名簿が作られた。

「延喜式」神名帳に登載された神社。今からおよそ一〇〇〇年前の律令時代国家は「祭政一致」で進められ、太政院が政治を、神祇院が祭事を司っていた。その神祇院において、全国各地の神社調査を目的に、官社（古代その存在を国家に認められ、公的な祈願をした神社）を記載登録した「延喜式神名帳」と呼ばれる名簿が作られた。

「延喜式」神名帳に登載された神社。今からおよそ一〇〇〇年前の律令時代国家は「祭政一致」で進められ、太政院が政治を、神祇院が祭事を司っていた。その神祇院において、全国各地の神社調査を目的に、官社（古代その存在を国家に認められ、公的な祈願をした神社）を記載登録した「延喜式神名帳」と呼ばれる名簿が作られた。

世界遺産パネル写真展も同時開催中。国産展の影響を受けて、世界遺産パネル写真展も好評である。神宝館で国宝展をみた方、交通安全の御祈願に来られた待ち時間の合間にと、観覧者は様々であるが、日本国内をはじめ世界各地の世界遺産を目にし、沖ノ島も世界遺産という動きを感じていただいている。

三日目 最終日は空港、小松駅に近い市内に鎮座される式内社、菟橋神社を正式参拝。宮司様のお取り計らいで特別に大変貴重な、同社所蔵の狛犬（平安時代作）を拝覧させていただいた。

三日目 最終日は空港、小松駅に近い市内に鎮座される式内社、菟橋神社を正式参拝。宮司様のお取り計らいで特別に大変貴重な、同社所蔵の狛犬（平安時代作）を拝覧させていただいた。

# 暑中御見舞申し上げます

## 宗像建設協力会

事務局 〒811-3205 福岡県宗像郡福岡町大字内殿1021-9 TEL(0940)42-3085

<p><b>株式会社 井上建設</b></p> <p>宗像郡福岡町中央五丁目一〇二〇 TEL 〇九四〇一四二一〇三二三 FAX 〇九四〇一四二一〇三二七</p> <p><b>井上重信</b></p>	<p><b>株式会社 桜井建設</b></p> <p>宗像郡福岡町畦町三三六 TEL 〇九四〇一四二一〇一八八 FAX 〇九四〇一四二一〇一五六</p> <p><b>櫻井良行</b></p>	<p><b>株式会社 篠崎建設</b></p> <p>宗像郡福岡町大字内殿一〇二一九 TEL 〇九四〇一四二一〇六一七 FAX 〇九四〇一四二一〇六七五</p> <p><b>篠崎清規</b></p>	<p><b>株式会社 田畑建設</b></p> <p>宗像郡福岡町西福岡三一五一〇 TEL 〇九四〇一四二一〇五一三 FAX 〇九四〇一四二一〇五二八五</p> <p><b>田畑博規</b></p>	<p><b>株式会社 日新建設</b></p> <p>宗像市田熊八二九 TEL 〇九四〇一三六二二三三 FAX 〇九四〇一三六二四七九八</p> <p><b>長尾榮次</b></p>	<p><b>株式会社 松崎組</b></p> <p>福岡市中央区荒戸一丁目二一三四 TEL 〇九二一七五一三三六九二 宗像郡津屋崎町大字宮司字川下一八九三 TEL 〇九四〇一五二二一三三〇 FAX 〇九四〇一五二二一三三〇</p> <p><b>松崎芳勝</b></p>	<p><b>松本組建設株式会社</b></p> <p>宗像市神湊一〇二〇 TEL 〇九四〇一六二一〇〇一六 FAX 〇九四〇一六二一〇〇一六</p> <p><b>松本純次</b></p>
---	---	---	---	---	--	---

宗像大社歌会  
俳句作品集四七九  
光岡 白土 凌一  
夏の日に我心とて梅  
雨を知る

梅雨盛りかえる泣か  
んや田植時  
朝早く窓の外見て夏  
を知る

光岡 井上 嘉治  
紫陽花の褪せて悲し  
や戻り梅雨

牡丹狩り牡丹鍋喰い  
隠れ宿

東郷 田中 憲象  
見学で了へし田植の  
加勢人

日の里 花田いつ枝  
がま蛙の声に押さる  
る千段目

東郷 宗風社俳句会  
吉武 湧泉  
朗々と残鶯一谷制し  
啼く

吉田 杏子  
飛ぶ蜜草に沈みて尚  
とます

三浦美千代  
落日を拾ひに行かむ  
夏の浜  
田中 雨葉  
五月晴一村を跨ぐ飛  
行雲

木原 房子  
ほのかなる風に香の  
ありカボス咲く

(続) 浜の寄物

178

いしい ただし

南島から北島へ移動をし、NZ最大の都市オークランドには三日間滞在をした。人口八二万ノースランド半島の基部にあつて、中心部はワイテマタとマヌカウ湾にはさまれた地狭部に位置する。両湾とも港湾として利用される。ワイテマタ湾にはオークランド・ハーバ・ブリッジがかり、ヨットレースで知られる「オセアニア事典平凡社」オークランドは帆の街といわれるのはここ由来がある。南島の都市が、こじんまりとした、石造りの建物が多いなかで、オークランドは高層ビルやタワーもあつて、はなやいだ感じがする。オークランドもレンタカー各所を巡つたが、郊外のオウレビーチを大上氏と歩いた。北島は緯度が南島よりも高く晩秋(初冬)とはいえず、まだサーフィンを楽しんでいる。波打ち際にはカガミガイやハボウキなどの貝殻が目についた。漂着して吹

決断力

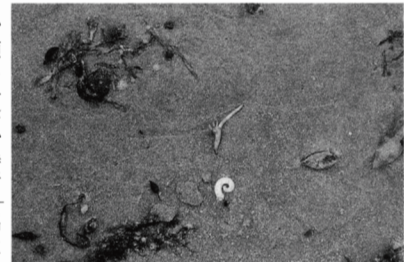
その時昭和の経営者たちは

出光興産株式会社 出光佐三店主

「業界の雄への飛躍」①

瀧口凡夫

念願の製油所 徳山に建設  
イランからの石油輸入が、出光飛躍の大きなきっかけとなった。次の課題は、自前の製油所の建設であつた。出光が石油元売り会社に指定された一九四九年(昭和二十四年)から、わが国は消費地精製方式を採用し、原油の輸入を優遇した。勢い、製油所を持たない出光は窮地に立たされた。佐三が製油所の建設を構想し始めたの



き上がった海藻の中を見ては、白い渦巻状の貝殻があつた。私一度は拾つてみたいと思つていた。トグロコウイカであつた。トグロコウイカの甲は渦巻状の甲で、3センチから2センチある。他のイカの甲とは全く異なり、むしろ見た感じはオウムガイに近いものではないかと思われ。トグロコウイカは水深五〇〇〜一〇〇〇メートルのところに棲んで、太平洋の熱帯・亜熱帯に普通に見られ

るといふ。このトグロコウイカの殻は、三〇年ほど前、東大教授だった浜田隆士先生から、ニューカレドニアで採集されたものをいただいた

意していた。日本では和歌山県で二例の漂着があつている。日本と条件はちがうし、この海域に普通に棲んでいるものだろうが、その殻がいたるところに漂着していたので興奮した。数は少なかつたが、ルリガイも漂着していた。「パオレットセエル」は色からの名であり、紫色の上品な色が好きである。「さすらいの旅人」はその習性から

は経験していない。大海をぶらりぶらり、波まかせ・風まかせの浮遊生活を送るといふ。トグロコウイカの殻を六〇個ほどのルリガイを拾つた。

ルリガイは漂着した時には身がついていて、それが打ち上げられ、死んで、中身が腐り、腐敗臭いがする。ビニール袋に入れたが車内まで臭いが漂つた。ホテルで水洗いをして腐れた身を出した。オレワビーチのうれしい漂着物だったが、夕暮れと約束の時間で、ビーチの半分しか歩けなかつたのが心残りであつた。場所は異なるがトグロコウイカとルリガイの漂着を見て満足だつた。

いざ建設するとなると、出光にはふたつの課題があつた。資金と技術者である。建設費は総計百億円に達したが、調達のメドが立たなかつた。佐三は「興業銀行で玄圃の期限が切れ、重油潤滑油以外の製品輸入も打ち切られることになつてた。自社で原油を輸入し、精製までやる以外に道はない。徳山の旧海軍燃料廠跡地は、四十九年から候補地として調査を進めていた。水深のある港、広い土地がある。終戦直後のタンク底廃油の縁もあつた。払い下げは昭和石油との激しい競争となつたが、五十五年八月の閣議了解で出光に決つた。昭石は四日市に決



徳山製油所(山口県)の外観

すのではない。合理的な経営法にたいして貸すのだ」と言つた。次は技術陣である。初めての製油所建設だから、もちろん経験者はいない。技術者といへば、大和勝技師(のち社長、会長)を含め三人だけだつた。石田正實常務を米国に派遣し、シカゴのUOP(ユニバーサル・

製油所構内で五月二十九日に行つた修祓の神事は、予定を三十分遅らせて午前九時から始まつた。米国から参加したエッソ石油、B O A U O P の代表たちが「神の祭りを見た」と希望したからである。「十ヶ月完成」の偉業に、かれらは「神の力」を感じたのであろう。

暑中御見舞申し上げます



玄海ホテル旅館組合 玄海国定公園の中心...白砂青松の海水浴場...宗像大社からバス5分 市外局番 (0940)

海	国民宿舎	御宿	み	松	は	高	神	玄	魚	魚	泉
宴	ひびき	はなわらび	な	風	ま	嘉	湊	海	屋	屋	屋
電話 六二〇一〇〇番	電話 六二二二八八番	電話 六二二〇七番	と	電話 六二二〇二〇番	庄	旅	スカイホテル	旅	別	本	館
			庄			館		館	館	店	館
			電話 六二二二五五番		電話 六二〇五〇〇番		電話 六二二三八〇〇番	電話 六二二〇〇一番	電話 六二二三三五番	電話 六二二二二番	電話 六二二〇三五番